

戸島川で水辺の生き物を観察

環境もやい☆
新聞

第2号

平成24年9月1日

発行：環境もやい☆
安芸高田運営委員会

平成24年8月31日、環境もやい☆安芸高田地域別取り組みとして、向原町戸島川にて水辺ワークショップを開催しました。地元の小学生や保護者の方が参加し、戸島川にどんな生き物が生息しているか実地調査し、環境に対する意識の向上を図りました。

当日は天気もよく、川に入るには絶好のコンディションです。初めに内藤先生に魚のとりかたを教わりました。魚の動きは速いので、網で追いかけてもまず捕れません。手ですっかりとめた網の中に魚を追い込むのです。その後参加者は自由に魚をとりました。

おのおので生き物を採集した参加者は一ヶ所に集まって、とれた生き物の確認です。種類ごとに水槽やバケツに仕分けします。採集した生き物には魚のほか、貝や水生昆虫もありました。魚の中には非常に珍しいスナヤツメもいました。仕分けのあとは内藤先生の解説を聞きました。

参加した子供たちからは、「楽しかった」「いろいろな魚がとれてよかった」などの感想が、大人からも「戸島川にこんなに魚がいることは知らなかった」といった感想が得られました。



戸島川位置図

戸島川生き物探検隊の概要

ねらい	地域を流れる川にどんな生き物がくらし、川の環境や私たちのくらしとどう関わっているかを学ぶ。
実施日時	平成24年8月31日（金） 9:00～12:00
実施場所	向原町戸島川
参加者	大人13名、子ども18名、スタッフ3名
講師	内藤順一氏（西中国山地自然史研究会）
内容	9:00 ねらい、内容の説明 9:20 川に入り、生き物採集 10:20 採集した生き物観察 10:40 生き物採集 11:10 採集した生物について解説 11:50 ふりかえり、意見発表 12:00 解散



採集した魚や貝、水生昆虫を種類ごとに分ける



非常に珍しいスナヤツメを採集



ねらい、内容の説明



内藤先生に魚のとりかたを教わる



採集した魚や貝、水生昆虫の説明を受ける



採集開始！



こんなにたくさんの生き物が見つかったよ!

環境もやい☆安芸高田「戸島川生き物探検隊」記録シート

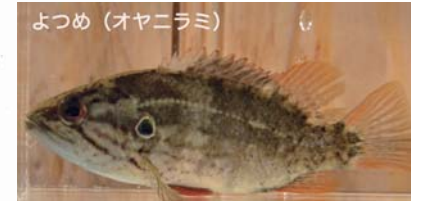
調査者氏名 _____
 調査場所 安芸高田市向原町戸島川

調査日 平成24年8月31日

見つけた生き物の名前を記入してください。



仲間	メモ
魚の仲間	<ul style="list-style-type: none"> • ハヤ(方言) → オイカワ 下流に多い、食べる虫もある。親になると、目の上が赤くなる。 • カマツカ この辺の在来種では?(内藤先生) • スナヤツメ たいてい水の中、泥の中にもいる。泳いでいる。1~3月頃、親になると出てきて卵を生む。3年間泥の中、1本長7cmくらい。今日と水には2年くらいの幼生。ヤツメウナギの仲間。卵は丸い → 円口類(エンコウレイ)
水生昆虫の仲間	<ul style="list-style-type: none"> • タイコウチ(カマツカの仲間、くまなく) • ミズカマキリ • コオニヤマトのヤゴ • カワサナエのヤゴ
その他(エビ・カニ・貝など)	<ul style="list-style-type: none"> • アメリカザリガニ • テリトコ(カマツカ) 両方ともボタルのエサになる。 • カワニナ 食べるときは、消化液を入れて、ドロドロにして、そのものをフェと吸う。 <p>①注 きれいな水 (源流ボタル) ↔ 汚い染毒の河川の水 (平家ボタル... 田にいるサマイカイナゴを食べる)</p>
感想・気づき・メモ	<p>シジミがまだとれていない。</p>



参加者の感想

- いろんな魚が発見できてよかった。アメンボがとれた。
- 楽しかった! スナヤツメがとれた!
- 見たことない魚がとれてよかった。
- もう一度やってみたい。
- いろんな魚のことを知れてよかった。
- 魚がとれたときの喜びは計り知れない。
- 新しい発見ができてよかった。
- こんなにたくさん魚がいるのを知れてよかった。みんなに教えたい。
- ハヤの中にも、種類がいろいろあることを初めて知った。
- 親子で参加したが、子どもが楽しそうなのでついつい最後までいた。戸島川ってこんなに魚がいるのかと思った。楽しかった。